取扱説明書

リハビリテーション用
トレッドミル

TRD-210
（スタンダードタイプ・傾斜有）

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  ・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  ・１部を保存用として大切に保管してください。

SAKAImed

03-049⑪Q1

もくじ

安全上のご注意 3
　安全にお使いいただくために 6

各部の名称 10

使用方法 12
　電源スイッチの入れ方、切り方 12
　操作パネルの使い方 12
　操作方法 14
　非常停止について 14
　手すりの高さ調節について 15
　切替スイッチについて 16
　電源投入時の操作パネル表示 16
　バックアップバッテリーについて 16

お手入れの仕方 17

このようなときには 18

機器の保守・点検について 19

保証とアフターサービス 20

製品仕様 21

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

⚠危　険

使用時の禁止事項

- 二人乗り（複数での歩行・走行）
- 後ろ向き（前方以外の歩行・走行）
- はだしや運動に適さない下駄等のはきもの
- スパイク付運動靴のようにベルト走行面を傷付けるもの
- 飛び乗り・飛び降り
- 速度の上げすぎ
- 傾斜の上げすぎ

緊急時の動作

- 危険を感じたときは、ただちに停止スイッチを押すか、非常停止スイッチを押すか、引き紐式非常停止スイッチのマグネットを外して走行を止めてください。
- 上記動作ができない場合は、手すりにつかまり両足を走行ベルトの外側（サイドステップ）に移動してください。
- 自分で操作できなくなったときは助けを求め、非常停止スイッチを押してもらいます。また、転倒したとき、衣類や髪の毛がはさまれないように身なりをあらかじめ整えておいてください。

⚠警　告

- 運動の前に血圧などで健康状態をチェックし、支障のないことを確認の上で使用してください。
- 病気や下記の障害のある方は、危険ですから医師と相談の上で使用してください。
  心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風など、その他身体に不安がある方。
- 使用中に胸の痛みなど身体に異常が感じたら、ただちに中止してください。
- 高速で回転するベルトが露出していますので、巻き込まれないように十分注意してください。
- 幼児などが周囲に近寄らないように、管理者・指導者は注意してください。
- 停電などで電源が遮断されたとき、走行ベルトは急速に停止しますので、転倒などに注意してください。
- 非常停止スイッチは通常の停止には使用しないでください。非常停止すると走行ベルトは急速に停止し、転倒など恐れがあります。

⚠注　意

- 本機を使用するときは、必ず、引き紐式非常停止スイッチのマグネットを操作パネルに装着し、クリップを身体に取付けてください。
- 走行ベルトが回転中に、本機後方に近寄る場合、走行ベルトと床のスキマに巻き込まれる恐れがありますので注意してください。
- 手すりにタオル・ウェアなどをかけないでください。落ちて走行ベルトに巻き込まれる恐れがあります。
- たばこを吸いながらの使用は、火災の恐れがありますのでお止めください。また、飲食しながらの使用も危険なためお止めください。
- 手すりにぶら下がったり、操作パネルにもたれかからないでください。
- 駆動部カバーに乗らないでください。
- 走行ベルトを無理に回したり、止めたりしないでください。
- 動作中の本機に近寄る場合、傾斜を下げると本機のフレームと床の間に足などを挟まれる恐れがありますので注意してください。
- 走行ベルトの動きが不規則になった場合や異常を感じた場合は、使用を中止してください。
- 走行ベルトは紫外線を浴びると劣化し、滑りやすくなりますので注意してください。
- 本機は、高速度で長時間連続して走行した場合、機械保護のため非常停止することがあります。
- 本機は、屋内専用のため屋外で使用しないでください。
- 改造は感電や誤動作による事故の原因になりますので、行わないでください。
- 泥などが付いたはきものを走行しますと、走行ベルトの早期劣化及び事故や故障の原因になりますので使用しないでください。
- 本機の近くで、高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器は使用しないでください。電子機器が誤動作したりするなど影響を与える可能性があります。
  ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、ペースメーカ、その他医療用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他自動制御機器など
- 本機はノイズに対して充分な処置を行っていますが、突発的に過大な外部ノイズが発生した場合には、走行ベルトが一定速度で作動したまま、操作パネルでの操作を受付けなくなる場合があります。　このような場合には、非常停止スイッチを押し一度走行ベルトを停止させてください。その後電源スイッチを切り、再び電源を投入して頂くことにより、以降は通常の操作が可能となります。
- 本機の付近で携帯電話や無線機、マイクロ波治療器等、電波を発生する装置を使用しないでください。本機の故障や誤動作の原因になります。
- 本機を故障なく長期間ご使用いただくために、屋内の室温は+５℃から+40℃の範囲でご使用ください。また、直射日光は誤動作の原因になりますので避けてください。
- 非常停止スイッチの故障時は、非常停止を解除できないことがあります。電源プラグを抜いて、最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

参考　ベルトに含まれている芳香剤によりにおいが発生します。においが気になる場合は換気を十分に行うか消臭剤等をご使用ください。消臭剤はベルトにはかけないでください。

安全にお使いいただくために

本機は、一般向け歩行および走行運動のための屋内運動器具です。

取扱説明書に定められた用途・用法以外での使用は、けがや事故の原因になりますのでお止めください。

- 本機は、適切な指導や管理を怠ると、使用者の身体に重大な障害をおこす可能性があります。管理者および指導者は、必ず本機の特性を熟知し、使用者に使用方法、注意事項、および緊急時の的確な対処方法を指導してください。
- 本機を使用の前に、管理者および指導者は P.19 機器の保守・点検について にもとづき日常点検、定期点検をしてください。
  またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
  破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。
- 本機での運動に馴れるまで多少の練習が必要です。
  初めての使用者は、手すりにつかまりながら 3～4 ㎞/h の速度で歩き、操作や走行ベルトの動きに慣れてきたら、速度を上げるように指導してください。

⚠設置・移動時の注意

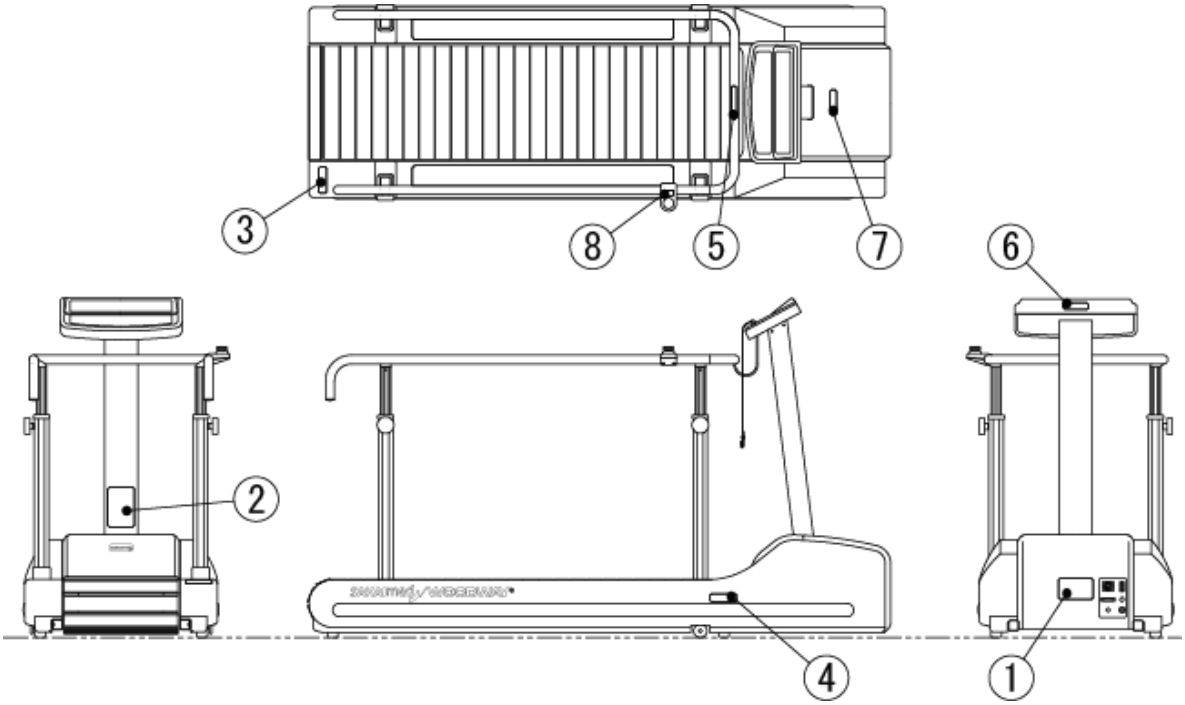
- **本機を爆発性・可燃性の恐れがある場所や水まわりなど感電の恐れがある場所では使用しないでください。**
- **屋外やほこりの多いところへ設置しないでください。**
- **本機の周辺には、障害物を置かないでください。**
- **本機は、平らで安定した床面に設置してください。斜めの面に設置すると使用中に移動し危険です。**
- **走行中に使用者が後方へ飛ばされる場合がありますので、安全のために本機の後ろ側に 2m 以上のスペースをとって設置してください。**
- **本機を毛の長いカーペット上には設置しないでください。故障の原因になります。**
- **傾斜機能により、走行面が高くなりますので天井高さが 2.5m 以上のところに設置してください。**
- **本機を２台以上並べて設置する場合は、お互いの間を周囲 1.5m 以上離してください。**
- **床面の材質や状態によっては、走行時の振動等で本体が移動し壁面にぶつかる恐れがあるので外周にスペースを設けてください。**

⚠電源についての注意

- 本機の仕様にあった電源に接続してください。
- 電源は、電圧変動がありますと故障及び誤動作の原因になりますので、AC100V±5%の範囲内を推奨します。
- 接続するコンセントは、本機専用コンセントにしてください。
- 感電事故を防ぐため、確実にアースされた電源に接続してください。(第三種接地)
- 電源を切るときは、走行ベルトや傾斜が停止しているときに行ってください。
- 電源コードを引張ったり、コードが重量物の下敷きにならないよう注意してください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
- 電源コード･プラグなどの破損や動作に異常があるときは、ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いて弊社営業所までご連絡ください。
- 電源を投入する前に、非常停止スイッチ 2 か所の非常停止状態が解除されていることを確認してください。

●注意表示の位置と内容

- 注意表示は、いつも読めるようにもの等を上に置かないでください。
- 注意表示が剥がれたり、汚れて読めなくなったときは、弊社営業所にご連絡ください。



①使用上の警告・注意

⚠警告

1. 走行中は機器操作者、訓練者以外の人を本機に近づけないで下さい。
走行ベルトに巻込まれたり、勾配下降時に足等を挟む恐れがあります。
2. 運動中に気分が悪くなったり、痛みを感じた時には、直ちに運動を中止して下さい。
3. 本機に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。感電や火災の恐れがあります。

⚠注意

1. この装置の付近で携帯電話や無線機、マイクロ波治療器等、電波を発生する装置を使用しないで下さい。
故障や誤動作の原因になります。
2. 脱いだ衣類やタオルを本機の走行面に近づけないで下さい。巻込まれる恐れがあります。
3. 操作パネルや支柱に寄り掛からないで下さい。

けがや機械の故障を防ぐ注意です。

②使用上の警告・注意

⚠危険

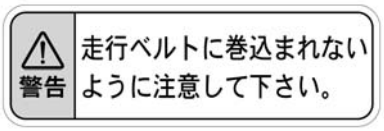
1.本機の近くで可燃性及び引火性の気体・液体を使用しないで下さい。爆発や火災の恐れがあります。
2.ガス管をアースに使用しないで下さい。爆発や火災の恐れがあります。

⚠警告

1.保守点検要員以外の人は絶対にカバーを外さないで下さい。
感電の恐れがあります。
2.濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電の恐れがあります。

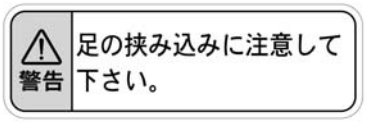
けがや機械の故障を防ぐ注意です。

③警告



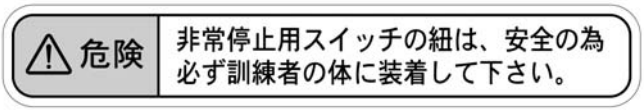
本機の後ろ寄りで走行したときやベルトに近づいたときに巻きこまれて、けがをする危険があります。
それに対する注意です。

④警告



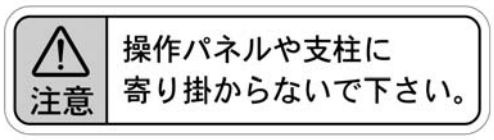
傾斜を下げたとき、本機と床の間に足などを入れていると挟まれて、けがをすることがあります。
それに対する注意です。

⑤危険



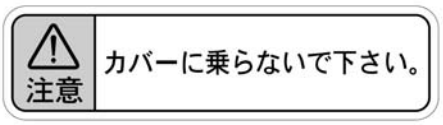
非常時のより安全のための注意です。

⑥注意



機械を保護するための注意です。

⑦注意



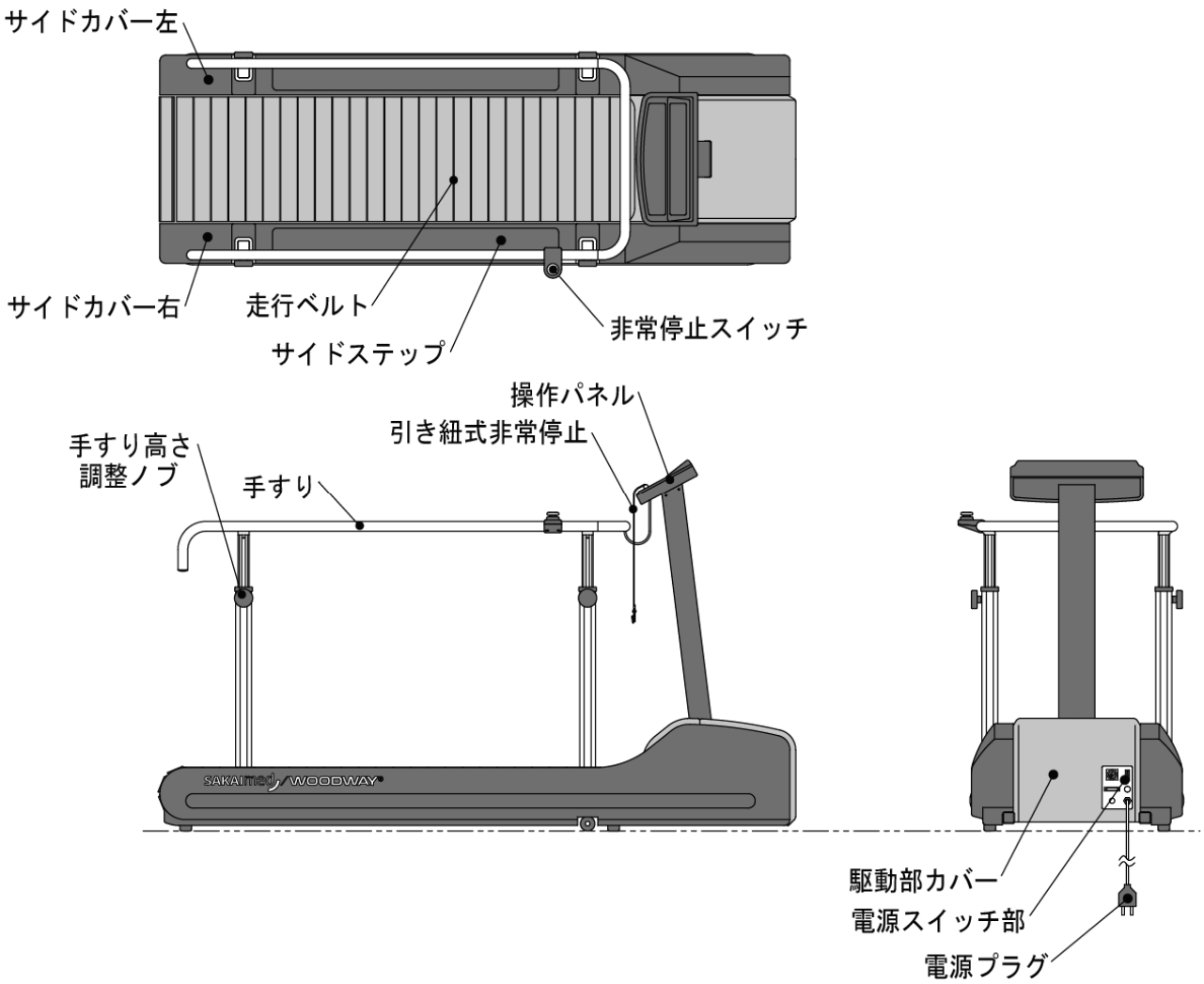
機械を保護するための注意です。

⑧非常停止

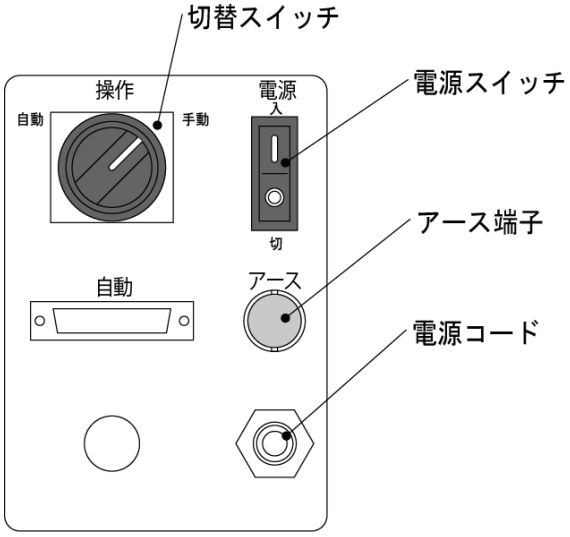
転倒などの緊急時に非常停止させるためのスイッチです。

各部の名称

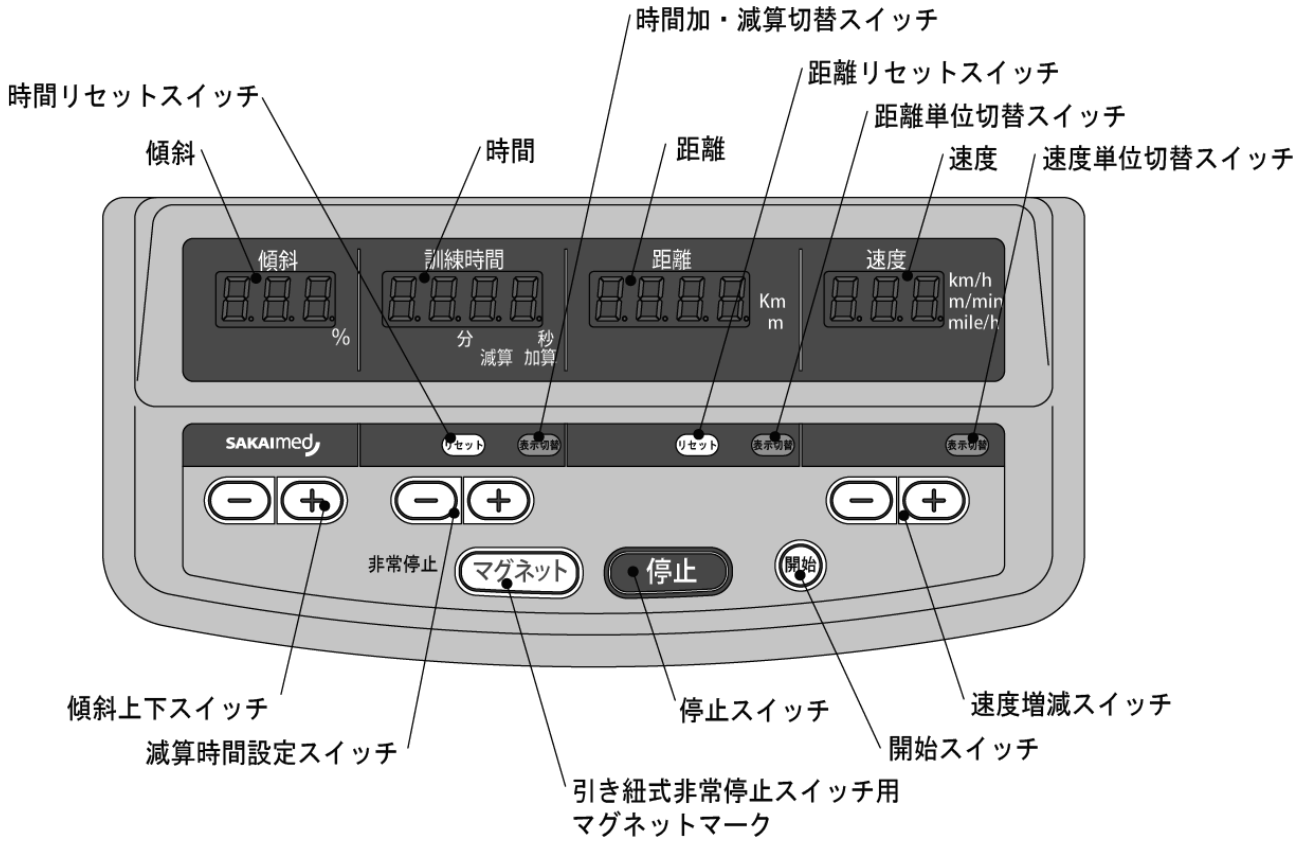
●本体



●電源スイッチ部



●操作パネル


時間加・減算切替スイッチ
距離リセットスイッチ
時間リセットスイッチ
距離単位切替スイッチ
傾斜
時間
距離
速度
速度単位切替スイッチ
傾斜
訓練時間
距離
速度
%
分
秒
減算
加算
Km
m
km/h
m/min
mile/h
SAKAImed
リセット
表示切替
リセット
表示切替
表示切替
非常停止
マグネット
停止
開始
傾斜上下スイッチ
減算時間設定スイッチ
引き紐式非常停止スイッチ用
マグネットマーク
停止スイッチ
開始スイッチ
速度増減スイッチ

使用方法

電源スイッチの入れ方、切り方

① 駆動部カバー前方下の電源スイッチ部に電源スイッチがあります。
電源スイッチを入側(▌)に押します。
●傾斜が自動的に０％まで作動します。
●操作パネルの表示が“０”を表示するまでトレッドミルの操作は出来ません。

② 電源スイッチの切り方
ベルト及び傾斜が停止していることを確認の上、電源スイッチを切側(◎)に押します。

⚠注意　使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。
また、電源設備の点検や工事を行う場合は、本機の破損防止のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作パネルの使い方

開始スイッチ

走行速度及び傾斜を設定しても開始スイッチを押さなければトレッドミルは作動しません。
開始スイッチを押した後も、走行速度及び傾斜の設定は変更可能です。
なお、傾斜が 0%のとき走行速度を 0 にした場合は、再度開始スイッチを押してください。

停止スイッチ

停止スイッチを押すと走行ベルトは緩やかに止まり、傾斜は自動的に 0%となります。
（傾斜が 0%になるまでは開始スイッチを押さないでください。）
積算された時間、距離の表示は保持されていますので、目標の時間又は距離まで続けて運動ができます。

引き紐式非常停止スイッチ用マグネットマーク

引き紐式非常停止スイッチのマグネット側を操作パネルのマグネットマーク位置に装着し、クリップ側を使用者に取りつけます。
マグネットが操作パネルから外れると走行ベルトが急速に止まります。
傾斜はその位置で停止します。
表示は、点滅して非常停止状態であることを示します。このとき、スイッチ操作は受付ません。解除方法は、マグネットを操作パネルに装着し、停止スイッチを押します。傾斜が自動的に 0%となり、スイッチ操作が可能となります。
（傾斜が 0%になるまでは開始スイッチを押さないでください。）
傾斜が 0%のときは、停止スイッチを押さなくてもスイッチ操作が可能となります。

速度増減スイッチ

走行したい速度の設定をします。(MIN. 0.2 km/h～MAX. 13.0 km/h)

速度単位切替スイッチ

走行速度(km/h、m/min、mile/h)の単位の選択ができます。

本装置の走行速度、走行距離は km/h を基準に計算していますので、他の速度単位に切替えますと、変換誤差があらわれる場合があります。

距離単位切替スイッチ

走行距離(km、m) の単位の選択ができます。

距離リセットスイッチ

走行距離を“0”にリセットします。

時間加・減算切替スイッチ

運動時間を加算にするか、減算にするかを選択します。

減算時は、運動時間が設定できます。

傾斜上下スイッチ

傾斜の設定をします。(MIN.0%～MAX.25%)

減算時間設定スイッチ

時間加・減算切替スイッチで減算を選択した時のみ、運動時間を設定することが出来ます。

時間リセットスイッチ

時間加・減算切替スイッチで加算を選択した時は“0”に、減算を選択した時は、減算時間設定スイッチで設定した値になります。

> ⚠**注意　スイッチはひとつずつゆっくりと確実に押してください。**
> 同時に２つ以上のスイッチを押したり、短時間に何回も押したりすると不具合が生じることがあります。（不具合が生じた場合は、停止スイッチを押して最初から設定しなおしてください。）

表　　示

- ●速度　0.2 km/h～13.0 km/h　　設定間隔 0.1 km/h
  3m/min～217m/min　　設定間隔 1m/min
  0.1mile/h～8.0mile/h　　設定間隔 0.1mile/h
- ●距離　9999m
  9999 km
- ●時間　0 分 0 秒～99 分 59 秒
- ●傾斜　0%～25%　設定間隔 0.5%

操作方法

速度を設定する

- ●速度増減スイッチの＋を押して走行速度を設定してください。（傾斜が 0.5%以上のときに速度を速度増減スイッチで 0 に戻した後、速度増減スイッチの＋を押した場合は 開始スイッチを押さなくてもベルトは動きます。）
- ●開始スイッチを押すとベルトが徐々に早くなり設定速度に達します。
- ●走行中減速したいときは速度増減スイッチのーを押し、増速したいときは速度増減スイッチの＋を押してください。
- ●走行ベルトを止めるには、
  ①停止スイッチを押すと走行ベルトが緩やかに止まり、傾斜は自動的に 0%となります。
  ②非常停止スイッチを押すか、引き紐式非常停止スイッチのマグネットを操作パネルから外すと走行ベルトが急速に止まり、傾斜はその位置で停止します。

傾斜を設定する

- ●傾斜は、ベルト走行中もベルト停止中も作動可能です。
- ●傾斜上下スイッチの＋を押して傾斜角度を設定してください。
- ●開始スイッチを押すと傾斜は上昇し設定傾斜角度に達します。
- ●傾斜を下降させたいときは傾斜上下スイッチのーを押し、傾斜を上昇させたいときは傾斜上下スイッチの＋を押してください。
- ●傾斜を止めるには、
  ①停止スイッチを押すと走行ベルトが緩やかに止まり、傾斜は自動的に 0%となります。
  ②非常停止スイッチを押すか引き紐式非常停止スイッチのマグネットを操作パネルから外すと走行ベルトが急速に止まり、傾斜はその位置で停止します。

非常停止について

非常停止

非常停止スイッチのボタンを押す	または	引き紐式非常停止スイッチの マグネットを操作パネルから外す

走行ベルトが急速に止まり、傾斜はその位置で停止します。表示が点滅して、非常停止状態であることを表します。このときスイッチ操作は受付けません。

⚠注意 ・走行ベルトが停止後は直ちにトレッドミルから降りてください。
・非常停止スイッチは強くたたいて押さないでください。
破損する恐れがあります。

非常停止の解除

> ⚠**警告**　**必ずトレッドミルから降りた後に非常停止を解除してください。**
> 降りずに解除するとベルトが高速で走行して転倒する恐れがあります。

非常停止スイッチの
押しボタン部を時計方向に回す → 引き紐式非常停止スイッチの
マグネットを操作パネルに装着する

→ 停止スイッチを押す

傾斜が自動的に 0%となりスイッチ操作が可能となります。
傾斜が 0%のときは、停止スイッチを押さなくてもスイッチ操作ができます。

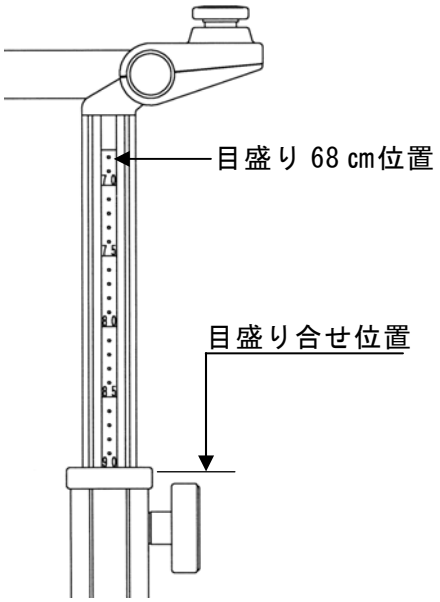
手すりの高さ調節について

手すりの高さは、走行ベルト面より 68～90 ㎝の範囲で調節することができます。

①手すりを片方の手で支えながら、手すり高さ調節ノブ（4 か所）を緩めてください。
手すりを任意の高さまで動かします。

②手すりの高さは支柱にあるスケールにより表示されますので、4 か所のスケールが同じ高さを示すように調節してください。

③手すりの高さが決まりましたら、ノブを締めて手すりを固定してください。



> ⚠**注意**　**・必ず手すりを支えてからノブをゆるめてください。**
> 手すりを支えないでノブをゆるめると、手すりが最下端まで落ちます。
> **・手すり高さの上限はスケールの目盛り 90(㎝)までです。**
> これ以上手すりを持ち上げると支柱が抜けるので、スケールを見ながら高さを調節してください。
> **・手すり高さの調節後は、ノブが十分に締めてあることを必ず確認してください。**
> **・手すり高さの下限は、スケールの目盛り 68(㎝)までです。**
> これより下に手すりを下げないでください。

切替スイッチについて

- 切替スイッチは必ず手動側にしてください。（自動は使用しません。）

⚠注意　電源が入っている状態で、自動ー手動の切替は行わないでください。

電源投入時の操作パネル表示

- 傾斜装置の有無に関わらず、電源投入のときにトレッドミルのハードウェアバージョンとソフトウェエアバージョンを表示します。
  傾斜装置有りの場合の表示：[Soft-xx　HArd-xx]
  傾斜装置無しの場合の表示：[　ft-xx　HArd-xx]
- ハードウェアバージョンとソフトウェエアバージョンの表示が終了し、傾斜 0%、速度 0 の表示を行うとトレッドミルを操作することが可能になります。

バックアップバッテリーについて

本機は、加・減算の切替えの保持、減算時の設定時間の保持、距離単位の切替えの保持、速度単位の切替えの保持のためにバックアップバッテリーを使用しています。バックアップバッテリーの容量が不足すると電源投入直後の数秒間、運動時間の「減算」「加算」、距離の「km」「m」、速度の「km/h」「m/min」「mile/h」の表示部が消灯します。バックアップバッテリーの容量が不足しても本機は、使用可能ですが、各設定は保持されません。バックアップバッテリーの交換は弊社営業所へ依頼してください。

お手入れの仕方

●走行ベルト周辺の掃除

本機の周辺にチリ・ほこり等がありますと機械内に入り故障の原因になりますので定期的に掃除をするようにしてください。

●汗の拭き取り

汗などがかかる部分は防錆処理をしていますが、汗や汚れをそのままにしておくと長時間経過すると錆の発生の原因になりますし、見た目に悪くなります。汗がついたときには布で拭き取り、汚れのひどいときはよく水気を絞った布で水拭きした後に乾拭きしてください。

⚠注意　傷や色落ちの原因になるので、お手入れには磨き粉・シンナー・ベンジンなどの溶剤やたわしなどは使わないでください。

このようなときには

症　状	原　因	対　策
電源が入らない	プラグが入っていない	プラグをコンセントに差し込んでください。
	ヒューズ切れ	弊社営業所までご連絡ください。
操作パネルの表示が点滅している	引き紐式非常停止スイッチのマグネットが外れている	引き紐式非常停止スイッチのマグネットを操作パネルに装着してください。
	非常停止スイッチが押されている	非常停止スイッチのボタン部を時計方向に回しロックを解除してください。
非常停止が解除できない	非常停止スイッチのトラブル	弊社営業所までご連絡ください。
速度、傾斜を設定して開始スイッチを押しても動かない	電気回路のトラブル	弊社営業所までご連絡ください。
	駆動系のトラブル	
走行中に変な音がする	ベルトの消耗	弊社営業所までご連絡ください。
	駆動系の潤滑剤切れ	

- **エラー表示が出たとき**

危険回避のため、異常などが発生したときは非常停止し、操作パネルにエラー表示がでます。

エラー表示	内　容
“Ｅｒｒ　０００１” または“０００１”	周囲にノイズを発生する装置のある可能性があります。たびたびこのエラー表示が行われる場合は、本機の使用を中止し、弊社営業所までご連絡ください。
“Ｅｒｒ　０００２” または“０００２”	このエラー表示には以下の２通りの原因が考えられます。 ①走行ベルトに過負荷が掛かっています。（許容体重をオーバーしている） ②上記以外の原因で、たびたびこのエラー表示が行われる場合は、本機の使用を中止し、弊社営業所までご連絡ください。
“Ｅｒｒ　０００３” または“０００３”	本機の使用をただちに中止し、弊社営業所へ修理の依頼をしてください。

- **操作スイッチの調子がおかしいとき**

長期間使用していると、接点部の接触不良やスイッチシートの弾力がなくなり、操作を受け付けなくなることがあります。

このようなときや、スイッチの文字が読めなくなったときは、弊社営業所までご連絡ください。

- **金属部分に触れると感電したようになるとき**

ほとんどが人体にたまった静電気によるものです。加湿器などで湿度を上げたり、静電気の起こりにくい服装・靴などに変えてください。

機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検，定期点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

電源が確実に接続されていること
本機の周辺や下側に障害になるものがないこと
各スイッチが確実に動作すること
走行ベルトの回転にむらのないこと
走行ベルトに大きな傷や極端なゴムの磨耗がないこと
走行ベルトの張り具合が適当であること **床とベルトの空間が 15 ㎜以上あること**
走行してエラー表示がでないこと （ただし非常停止スイッチを押したとき、または引き紐式非常停止スイッチのマグネットが装着されていないときは除きます。）
走行ベルトの回転中に異常な音や匂いのしないこと

定期点検項目

点検事項	点検時期
走行ベルトの張り具合・磨耗状態	1 か月毎
手すりの取付けゆるみ	1 か月毎
カバーとベルトの隙間	1 か月毎
フレームの変形・破損	6 か月毎

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、走行ベルト 3 年間、それ以外は 1 年間または走行距離 10,000 ㎞を上限とします。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*TRD-210*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解しないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの
  走行ベルト / 非常停止スイッチ用引き紐

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

製品仕様

	TRD-210
速　　度	0.2 ～ 13.0 km/h　　設定間隔 0.1 km/h 3 ～ 217 m/min　　設定間隔 1m/min 0.1 ～ 8.0 mile/h　　設定間隔 0.1mile/h
傾　　斜	0 ～ 25% 設定間隔 0.5%
運動時間	0 分 0 秒 ～ 99 分 59 秒（加算、減算切替式）
走行距離	9999 m 9999 km
許容体重	定格体重 110 kg（基本性能を満足） 許容最大体重 160 kg
使用電源	単相 100V±5%、15A (50/60Hz)、専用コンセント
電源入力	1200VA
外形寸法	長さ　約 2205 mm 巾　　約 730 mm 高さ　約 1280 mm
走　行　面	長さ　約 1560 mm 巾　　約 430 mm
走行面高さ	約 220 mm
質　　量	約 250 kg
付　属　品	引き紐式非常停止スイッチ（マグネット）：1 運搬用パイプ　　：4 巻き込み防止バー　　：1
環　　境	使用環境　使用場所：屋内で腐食性、爆発性ガス及び蒸気のない所 周囲温度：＋5～＋40℃ 相対湿度：30～90%RH（結露状態を除く） 保管環境　周囲温度：－10～＋60℃ 相対湿度：10～95%RH（結露状態を除く）